本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

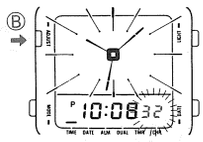


CASIO
電子アナログ表示＋デジタル表示
アラーム・1/100秒ストップウオッチ・タイマー・デュアルタイム
スーパー2wayII
187・188
使用説明書
Ⓐ

秒の合わせ方……30秒以内の遅れ・進みの修正

※時刻表示、カレンダー表示のどちらの表示でも修正することができます。
デジタル部の「秒合わせ」をおこなうと、アナログ部の「秒合わせ」も自動的におこなわれます。

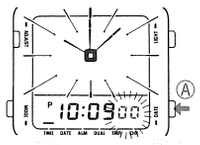
(1)時刻表示(カレンダー表示)のとき Ⓑ ボタンを押すとデジタル時刻表示の「秒」が点滅します。



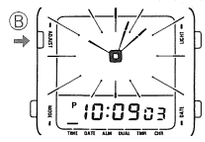
(2)時報に合わせて Ⓐ ボタンを押すと「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



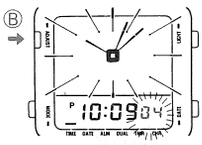
(3)Ⓑボタンを押すと点滅は止まり、もとの表示に戻ります。



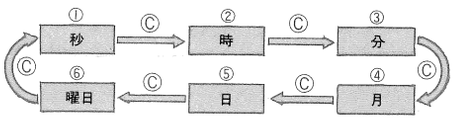
時刻・カレンダーの合わせ方

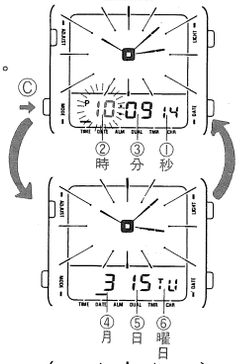
電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は以下の方法で合わせてください。
※アナログ部はデジタル時刻と連動していますので合わせる必要はありません。

(1)時刻表示(カレンダー表示)のとき Ⓑ ボタンを押します。
確認 ⇨ デジタル部の「秒」が点滅していますか？



(2)Ⓒボタンを押します。
確認 ⇨ 点滅する個所が移動しましたか？
※Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。
点滅個所が修正可能です。



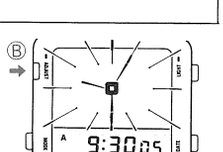


(3)Ⓐボタンを押します。
確認 ⇨ 点滅している表示が1つ進みましたか？
※Ⓐボタンを押すごとに点滅している表示が1つずつ進み、押し続けると早送りができます。



Ⓒボタンで修正したい個所を点滅させ、Ⓐボタンで表示を修正する操作をくりかえしおこない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注1)「時」のセットのとき、午前/午後、24時間制にご注意ください。
注2)24時間制のときも同じ方法で合わせられます。

(4)合わせ終わったら(どの個所が点滅していても)、Ⓑボタンを押すと修正前の表示に戻ります。



●カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日以外は修正不要です。

●鳴っている電子ブザーを止めるにはⓁボタンを押します。

●他表示への切替え

ストップウオッチやタイマーを使用中にⒸボタンを押して時刻表示など他の表示にしてもその計測には影響ありません。ただしストップウオッチでラップ計測時(LAPが点灯)にこの操作をしますとラップは解除されます。

●モニターアラーム

アラーム表示のとき、Ⓐボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。

●自動復帰機能

時刻・カレンダーのセットやアラーム、デュアルタイム、タイマーのセットで表示を点滅させたままにしておくと1～2分後自動的にセット前の表示に戻ります。

ご使用上の注意

温　度●直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。
また、寒い所に長く放置しないでください。
●遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。
また、＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。
ショック●通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。
磁　気●磁気の影響はありません。
お手入れ●ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。
薬品類●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。
保　管●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。
バンド●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてください。

防水性について

●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの
防汗構造となっておりますが、防水時計ではありませんので、直接、水に触れるようなご使用はお避けください。
●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの
洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
●50M防水の場合
水仕事、スポーツなどでご使用になる水準です。スキンダイビング、高とび込み、ウインドサーフィンなどでのご使用はお避けください。
●防水性能を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
●この時計は、電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買いあげの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。(特殊な治具を必要とします。)

電池交換について

最初の電池●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
消　耗●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
電池交換●電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

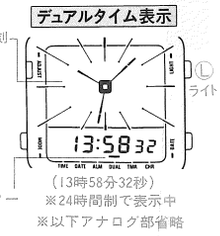
製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル・アナログ表示
基本機能：アナログ部　時・分・秒
デジタル部　時刻表示＝時・分・秒・午前／午後
カレンダー表示＝月・日・曜日　オートカレンダー
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子ブザー＝20秒間
時報　毎正時に2回電子ブザーで報時
デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒
タイマー機能：計測単位＝1/100秒　セット単位＝分　電子ブザー＝10秒間
計測範囲＝60分
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝59分59秒99(60分計)
計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ計測、1・2着同時計測
セット機構：時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構(±30秒クリア)
アラームセット機構、デュアルタイムセット機構、タイマーセット機構
その他：自動復帰機能　モニターアラーム　12/24時間制表示切替え機能
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：酸化銀電池No.365(電池別途販売)
電池寿命：約12ヵ月(1日当りライト1秒、電子ブザーを20秒使用した場合)

デュアルタイムの使い方……操作のしくみにしたがい©ボタンを押してデュアルタイム表示にします。

確認 ⇨ DUAL ――― インジケーターの点灯

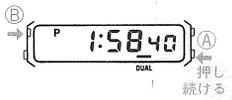
デュアルタイムとはデジタル時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。(秒はデジタル時刻と連動)またデジタル時刻とは別に12/24時間制を選択できますので、デジタル時刻、デュアルタイムをそれぞれ12時間制表示、24時間制表示にセットすることができます。



●12/24時間制表示の切替え

デュアルタイム表示のときⒶボタンを押したままの状態で、Ⓑボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示とが切替わります。

※12時間制表示のときは午前A、午後Pが点灯します。



●セットのしかた

(1)デュアルタイム表示のときⒷボタンを押すと「時」が点減します。



(2)Ⓒボタンを押すごとに以下のように点減個所が変わります。

※点減個所がセット可能です。



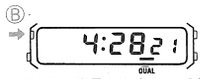
時 ⇔ Ⓒ ⇔ 分

(3)(点減個所が)Ⓐボタンを押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送りができます。

※Ⓒボタンでセット個所を点減させ、Ⓐボタンで表示を合わせます。



(4)Ⓑボタンを押すと点減が止まり、セット完了です。

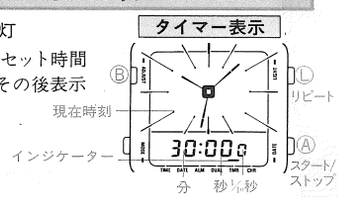


24時間制表示のとき、A.Pは点灯しません。

タイマーの使い方……操作のしくみにしたがいⒸボタンを押してタイマー表示にします。

確認 ⇨ TMR ――― インジケーターの点灯

タイマーは分単位で最大60分までセットでき、セット時間が経過すると10秒間電子ブザーで知らせます。その後表示はセット時間に戻ります。(リピート)



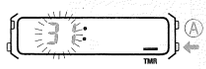
●セットのしかた

※以下アナログ部省略

(1)タイマー表示のときⒷボタンを押すと(秒、1/10秒は消えて)「分」が点減します。



(2)Ⓐボタンを押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送りができます。Ⓐボタンを押してセットしたい時間にします。

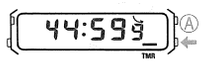


(3)Ⓑボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。

※分、秒、1/10秒まで表示します。



(4)Ⓐボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を1/10秒単位で表示します。



●ロスタイムのある場合

タイマー表示のときⒶボタンはスタート/ストップボタンになり、減算計測をストップさせることができます。サッカーなどロスタイムのある試合時間の計測に便利です。

※Ⓐボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

●リピート(繰り返し計測)

タイムアップ後(のこり時間0)、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するとき便利です。

計測の途中で最初からやり直すときは計測ストップ後、Ⓛボタンを押します。

ストップウオッチの使い方……操作のしくみにしたがいⒸボタンを押してストップウオッチ表示にします。

確認 ⇨ CHR ――― インジケーターの点灯

ストップウオッチは1/100秒の計測単位で59分59秒99(60分計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

★計測のしかた……Ⓐボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。



●通常の計測 Ⓐスタート → Ⓐストップ → Ⓛリセット

※積算計測……ロスタイムがある場合にはストップ後、リセットせず再スタート(Ⓐボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●ラップタイム(途中経過時間)の計測

Ⓐスタート → Ⓛラップ計測 → Ⓛラップ解除 → Ⓐストップ → Ⓛリセット

●1着・2着のタイム計測

Ⓐスタート → Ⓛ1着がゴール(1着タイム表示) → Ⓐ2着がゴール → Ⓛ2着タイム表示 → Ⓛリセット

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

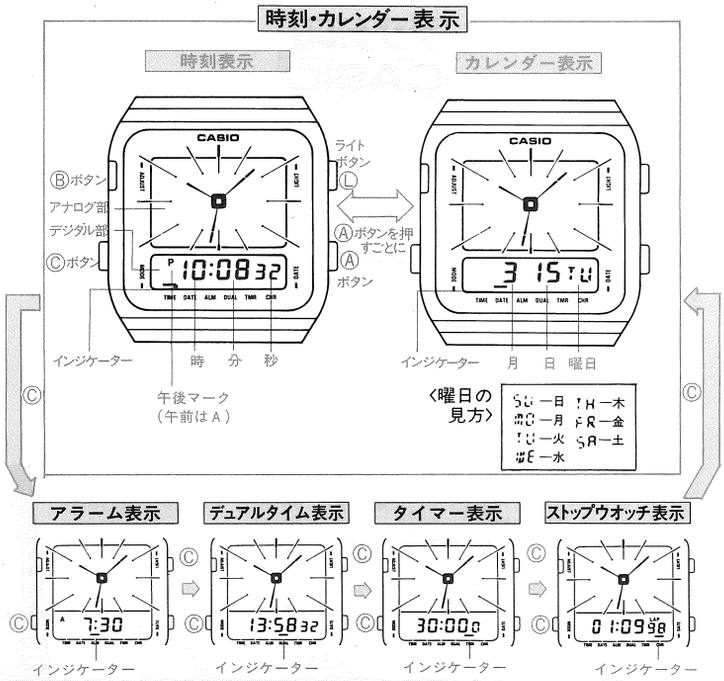
なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順でデジタル部の表示が切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)

※詳しくは各機能の項目をご覧ください。



●12/24時間制切替え

時刻表示のときⒶボタンを押したままの状態でⒷボタンを押すごとにデジタル表示部が12時間制表示(午前A.午後P 点灯)と24時間制表示(0~23)とに切替わります。

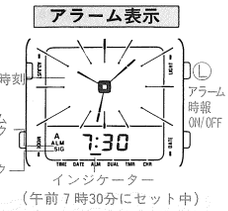
※この操作でデジタルを24時間制表示、アナログを12時間制表示にしておくことができます。

アラームの使い方……操作のしくみにしたがいⒸボタンを押してアラーム表示にします。

確認 ⇨ ALM ――― インジケーターの点灯

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせます。同時に"ALM"が点滅します。また毎正時(00分のとき)を"ピッピッ"と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

※時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。



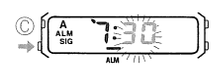
●セットのしかた

(1)アラーム表示のときⒷボタンを押すと「時」が点減します。



(2)Ⓒボタンを押すごとに以下のように点減個所が変わります。

※点減個所がセット可能です。



時 ⇔ Ⓒ ⇔ 分

(3)(点減個所が)Ⓐボタンを押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送りができます。



Ⓒボタンでセット個所を点減させ、Ⓐボタンで表示を合わせて、アラームを鳴らしたい時刻にします。

※24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制でセットします。

(4)Ⓑボタンを押すと点減が止まります。

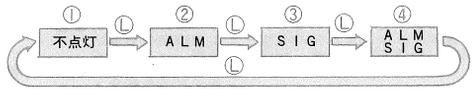


午後9時45分にセット

●アラーム、時報のON/OFF

アラーム表示のときⓁボタンを押すごとにアラームマーク"ALM"、時報マーク"SIG"が以下の順で点灯、不点灯をくりかえします。マークが点灯しているときがONの状態です。





①アラームマーク、時報マークが消えているとき ――→ アラーム、時報ともOFF

②アラームマークのみ点灯しているとき ――→ アラームのみON

③時報マークのみ点灯しているとき ――→ 時報のみON

④アラームマーク、時報マークが点灯しているとき ――→ アラーム、時報ともON